

指導の形態	自立活動「落ち着いて学習しよう」	障がい種	自閉症
-------	------------------	------	-----

授業の概要やよさ

- ・「やらない」「できない」面に焦点を当てず、本人の興味関心や現在できることを大切に学習活動を工夫している。
- ・家庭と連携しながら、生活習慣、集団生活のルールを守ることに取り組んでいる。

児童生徒の様子

- 小学校6年生男子
- 定期的に診察を受け服薬している。
 - 「したくない」「嫌だ」が多く、給食や掃除当番をしなかったり、授業中教室を出て行ったりする。
 - 書くこと、反復することを嫌がる。

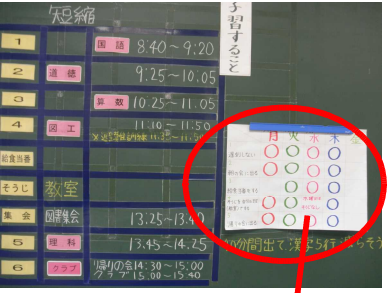
目標

- 給食、掃除当番で任された仕事をす
- 板書の記録や書くことに意欲を持って最後まで取り組む。

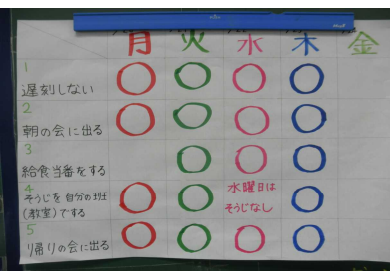
支援のポイント

「したくない」「嫌だ」が多く、授業中教室を出て行くことがある。

家庭と相談の上、約束表を作り教室の黒板に貼る。一週間できると好きな活動を授業の最後に行なう。できた時に良さを伝え褒めながら習慣化を目指し、ご褒美がなくてもできるようにする。



拡大



書くこと、反復することを嫌う

工夫1 板書やノートの使い方を工夫



- ・デジカメで板書を撮影し、印刷してノートに貼る。
- ・板書の字を大きくし、1時間に2～3度撮影する場面を作り、離席しにくくする。

工夫2

- ・書く欄を作り、授業ポイントのみを児童が記述する。
- ・見やすいよう色をつけ、記述の仕方を統一し、一人でも取り組めるようにする。
- ・時折ノートを見返し、達成感を持たせる。
- ・教師が問題、解き方やポイントを記述。解き方やポイントを具体的に示す。できているところを褒め、丸をつける。

